

研修目標と研修内容について
職種名「医療社会福祉士レジデント」

1 概要

予防から治療、リハビリテーション、緩和に至る包括的、継続的ながん医療の中で、がん患者・家族の自立を助け、罹患や治療継続によって生じる様々な心理的・社会的・経済的問題を解決するための支援を行う。

2 研修での到達目標

1) 一般目標

がん患者・家族の心理・社会的問題の理解と援助技術の習得

2) 行動目標

- ・ がんの疾病理解と、それに伴う患者心理の理解
- ・ がんセンターへの受診・受療援助
- ・ 療養中の心理的・社会的問題の解決、調整援助
- ・ 退院および社会復帰のための援助
- ・ 記録（電子カルテ・相談記録など）の技能習得
- ・ 就学・就労に関する援助
- ・ 患者の権利擁護、およびクレーム対応の技能習得
- ・ ピアサポート活動への参加
- ・ 研修・研究活動

3) 実習内容

がん診療連携拠点病院の相談支援センターにおける相談員として必要な知識・技能の習得を目標とする。

1年目は、各部署や専門職の理解を通して、がんセンター全体の機能を知ることにより、医療機関として提供できるサービス内容や限界を理解する。

2年目は個々のケースへの援助を通してソーシャルワーク技術を高め、カンファレンスに参加し、多職種チームの一員として医療ソーシャルワーカーの役割を果たす。さらに地域の他機関の状況や連携、情報収集や活用方法などについて理解する。

- a) 電話・対面相談を通して、言語的・非言語的に示される相談者のニーズ把握・アセスメントを行い、必要な情報提供や心理的サポートを行いながら、生活問題を解決するための具体的方策について助言・援助を行う。また記録方法、院内・院外連携、関係調整などについての技能を習得する。
- b) 出張相談に同行し、がんセンターの役割と地域連携について理解する。
- c) がん専門相談員を対象としたワークショップに参加し、運営方法などを習得する。
- d) 院内で行われる研修や講義に参加し、自らも研究に取り組む。